

第8回 B I R D 脳科学セミナー

脳活動データ解析による
病態理解に向けた精神疾患判別と
脳活動を用いたリハビリテーションロボットの制御

演者: 森本 淳 先生

ATR脳情報研究所 ブレインロボットインタフェース研究室 室長

日時: 2017年 3月24日 (金) 15:00~16:30

場所: 野田キャンパス 2号館2階 機械工学科会議室

近年、機能的MRIデータにもとづいて、機械学習を用いたデータ解析により精神疾患の病態を理解し、その治療に役立てようとする研究が大きな注目を集めている。特に安静時の自発脳活動にもとづく精神疾患の判別をデータ駆動でおこなう手法についてはここ数年で多数の研究成果が発表され、臨床への応用が期待されている。このようなデータからの情報抽出方法を用いた精神疾患へのアプローチを概説するとともに、我々の研究プロジェクトにおける取り組みについて紹介する。一方で、近年のロボット技術の進展により、ロボットがヒトの近くで活躍するようになってきた。そこで、リハビリテーションの臨床現場においても、その応用が注目を集めている。ここでは、リハビリテーションに貢献することを目指した上肢・下肢動作支援を行うBMI(ブレイン・マシン・インタフェース)ロボットについても概説する。

本セミナーは学部生、大学院生の聴講も歓迎します

主催: 脳学際研究部門 (Brain Interdisciplinary Research Division)

東京理科大学における脳研究の学際的な連携基盤の構築を目指し2016年度に発足。
学内の理一・工一・基礎工・理工・薬学部・生命研および学外の研究機関から構成される。

世話人: 理工学部 教養 市川寛子 (野 3036) ichi@rs.tus.ac.jp

